

●はじめに

この度は、簡易型コムジェネレーター COMB-39Dをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

COMB-39Dは、マイクロ波ダイオードを使用することにより広帯域に通信信号を発生し、さらにMMICで増幅することにより広帯域に信号を得ることが出来ました。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、安全に正しくお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

●特徴

☆本製品はUHF帯から10GHz以上のマイクロ波帯まで大幅な帯域で信号を発生させることが出来ます。

☆広帯域MMICの増幅回路を内蔵しておりますので、従来より強力な通信信号を得られます。

☆入力周波数は数MHz～数GHzまで使用できます。(最大入力1W)

●部品の確認

部品が全部そろっていることをご確認ください。

- ・本体
- ・取扱説明書

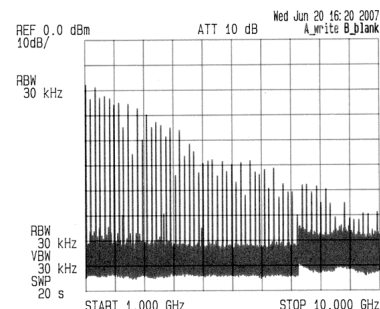
●規格

通信発生周波数 : HF～10GHz以上
信号レベル : -50dBm (5760MHz、入力144MHz)
通信回路 : マイクロ波ダイオード+MMIC
電圧 : DC10V～12V (赤: ⊕、黒: ⊖)
電流 : 0.1A
入力端子 : BNCJ
最大入力 : 1W
出力端子 : SMAJ
インピーダンス : 50Ω

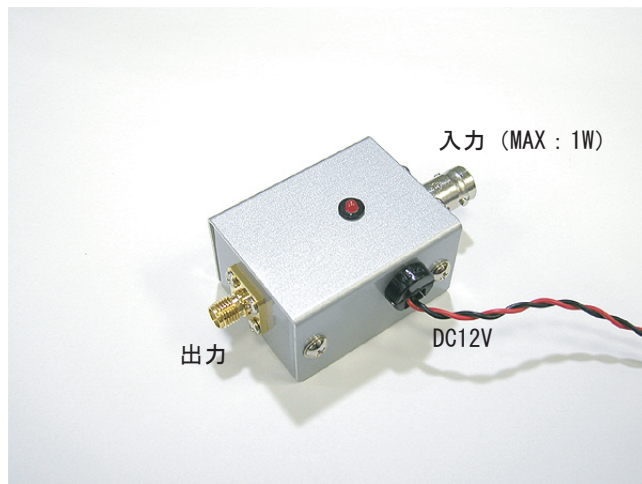
* 都合により仕様を変更する事がございます。

●通信波の使用例

出力周波数	入力周波数
・1296MHz	— 144.000MHz × 9 通倍
・5760MHz	— 144.000MHz × 40 通倍
・10.24GHz	— 144.225MHz × 71 通倍
・2427MHz	— 50.252MHz × 48 通倍



通信信号の例
入力 : 144.00MHz 0.5W



●使用上のご注意

☆ 本製品の最大入力は1Wですので、入力電力には十分注意してください。0.5W以下での使用をお勧めします。

☆連続して広帯域に通信信号を発生しますが、信号レベルは周波数が低いと信号レベルが高く、周波数が高いほど信号レベルが低くなります。

☆コムジェネレーターを受信機に直接接続して使用しますと、受信機の破損や故障の原因となります。(低い周波数の信号レベルが非常に強い) 双方にアンテナを接続するか、フィルター、アッテネーターを接続してご使用ください。

☆ DC12V専用品です。過電圧、逆接続は故障の原因になります。

●機能

- ・本製品に通電しますと、LEDが点灯します。
- ・BNC端子に無線機、SG等から信号を入力してください。(50MHz～1000MHz 0.5W)。通倍された周波数の信号がSMA端子から出力されます。出力される信号は、入力された周波数の整数倍になります。(1倍、2倍、3倍、4倍、・・・・・・)
- ・電源 : DC12V (13.8V) をご使用ください。
(ACアダプターは別売です)

